

田村市立芦沢小学校・幼稚園だより

教育目標 「かんがえる子」「たすけあう子」「じょうぶな子」「やりとげる子」

あしざわ

平成26年7月4日

NO. 4

児童数 1年9名 2年13名 3年12名 4年4名 5年14名 6年9名 計61名
園児数 4歳児6名 5歳児1名 計7名

7月をむかえて!

梅雨に入り雨が降ったり暑くなったりと変わりやすい天候と
なっています。このような時期は、体調を崩しやすいので十分
注意させたいものです。いつもより多めの睡眠時間、体の清潔
などにご配慮ください。

春と夏の間にある、この梅雨期は稲作には欠かせない時で、いわば稲にとって成長発育
のエネルギーを蓄積する時期でもあるともいわれています。学校では夏休み前の「まとめ」
の時期です。これまでの学習内容を見直して、理解がもう少しの内容や大切なので再確認
したい内容など、重ねて学習します。子どもたちにとっても成長発育のパワーを蓄積する
大切な時期といえます。また、自分の課題や目標を見つけ、それによって夏休みを充実し
て過ごす準備の時期となります。ご家庭でも、その面での助言をよろしく願います。

命を考え・守り・育んだ 6月 ～ 各種検診・避難訓練・授業 ～



鏡をのぞき込みながら
熱心に歯を磨く6年生

6月は「命の月」と集会の折に子どもたちに話しました。
水泳学習の開始、避難訓練。保健関係の各種検診。加えて、
道徳で「生命尊重」を学ぶ授業が複数あったからです。
公教育の最も大切な目的「命の教育」が充実していました。

《水泳学習》

水泳学習は、スポーツとしての側面と万が一の時に「命を
守る」力をつける意味合いもあります。

《各種検診》

内科・歯科・眼科検診等健康状態を調べる検診の実施と、
今年度の重点事項である「歯科指導」の一環として、幼稚園
から6年生までの染め出し法による歯磨き指導も実施しました。また、ご家庭にも参加
いただき「歯の健康標語」校内コンクールを行いました。健康保持は何より自分の命と
向き合うことです。これからも、ご家庭のご協力をいただきながら、子どもたちの健や
かな命を育んで参ります。よろしく願います。

《避難訓練》

今年度の避難訓練は、子どもたちのかけがえのない命を守るために、私たちの訓練内
容を実践的に改めました。避難誘導・消防署への連絡・初期消火・逃げ遅れた子の救出
・引き渡し用物品搬出。消火栓のホースを出しての初期消火に、職員13名総力を挙げ
て絶対に68名の命を守るとの意気込みが伝わり、全体の真剣度が一層増しました。

《道徳授業》

HPでお知らせしたように今
月は全学年が道徳の参観授業を
実施しました。主題も「命」に
関わるものが多く、真剣な子
どもたちの姿が印象的でした。

秋にも道徳の参観授業があ
ります。事前にお知らせします
ので、ぜひ次回は、どなたでも
参観可ですのでおいでください。



詩「命のバトン」に聞き入る5年生 朝顔の命と向き合う1年生

がんばってます! あしっ子たち

1 第30回小学生陸上競技交流大会福島県選考会県中(田村)地区予選会

6月14日(土)に田村市陸上競技場において、上記の大会が開催されました。本校からは、5・6年生の児童が参加しました。子どもたちは今まで取り組んできたことを精一杯発揮し、一生懸命競技に参加していました。

保護者の皆様の声援と仲間の励ましに自己ベスト続出でした。

子どもたちの頑張りを見ると、こちらが勇気づけられるような気がします。下記に入賞記録をお知らせします。5位までに入賞した児童は、7月6日に行われる県大会に参加します。

- 6年女子80mハードル 第4位 17" 14
- 6年女子走り幅跳び 第5位 3m 27cm
- 6年女子走り幅跳び 第6位 3m 22cm

2 田村市少年の主張コンクール船引大会

6月14日(土)に田村市文化センターにおいて田村市少年の主張コンクール船引大会が開催されました。本校からは6年生1名が代表として参加しました。上記の陸上大会に出場して、直後に移動し、会場入りとハードスケジュールでしたが、自分の夢を堂々と発表して、満場の拍手をもらいました。そして見事に優秀賞を獲得、8月2日(土)に開催される田村市少年の主張大会本戦への出場を決めました。

- 優秀賞 6年 「夢の情報発信者に」

子どものこんなところに眼を向けて

あしっ子の輝きだより



七月・第二図書室出現
県立図書館の貸出事業を利用して第二図書室を昇降口前に開設しました。夏休みの特別貸出も行います。さっそく本をのぞき込む姿が、「本は心の栄養」。

七月一日水泳学習高学年
工事期間中船引南小のプールを借りて、水泳学習を始めました。礼儀正しく感謝の気持ちを表す姿に安心して感じます。



ある日の給食 一年生
食器に残ったご飯粒の一粒を一生懸命食べようとしています。小さな手で箸をしっかりと動かして、一粒を大切に食することが食育の始まりです。

「子どもの心」について

「よく頑張ったねー。」「なかなかいいよ!」このような言葉をかけると、子どもたちはニコニコ顔になります。授業や生活の場面で、自分の学習や活動が認められると大変うれしいものです。この喜びやうれしさが、子どもたちの達成感となり、自信へとつながります。また、活動意欲にもなります。ですから我々教師は、できるだけ子どもの頑張りを見つけ、認めることに努めます。

さて、ご家庭ではどうでしょうか。学校と同じように家庭においても、子どもたちは認めて欲しいと願っています。ですからお子さんの頑張りを見つけ、大いにほめてください。小言や注意より子どものやる気を引き出しますよ。

一言 …「頑張る＝眼張る」と語源の話を子どもたちにしました。実はこの話、大人が子どもを見るときに頑張るなのです。つまり、子どものどこに眼を張るか。ぜひ、良いところに

学校の教育活動に対するご質問等がありましたらお電話ください。 電話82-1035